

2012年理系第3問

増田

3 a を正の定数とし、座標平面上の2曲線 $C_1: y = e^{x^2}$, $C_2: y = ax^2$ を考える。このとき以下の問いに答えよ。ただし必要ならば $\lim_{t \rightarrow +\infty} \frac{e^t}{t} = +\infty$ であることを用いてもよい。

- (1) $t > 0$ の範囲で、関数 $f(t) = \frac{e^t}{t}$ の最小値を求めよ。
 (2) 2曲線 C_1, C_2 の共有点の個数を求めよ。
 (3) C_1, C_2 の共有点の個数が2のとき、これらの2曲線で囲まれた領域を y 軸のまわりに1回転させてできる立体の体積を求めよ。

(1) $f(t) = \frac{e^t}{t}$
 $f'(t) = \frac{e^t}{t} - \frac{e^t}{t^2} = \frac{e^t}{t^2}(t-1)$

$t=1$ のとき、 $f'(t)=0$

増減表は以下のようになる。

t	$+0$	\dots	1	\dots	$+\infty$
$f'(t)$		$-$	0	$+$	
$f(t)$	$+\infty$	\searrow	(最小)	\nearrow	$+\infty$

最小値は $t=1$ のときで、

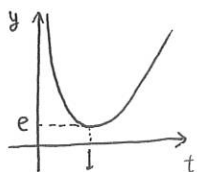
$f(1) = \frac{e}{1} = e$

- (2) $x^2 = t$ とおくと、 $x=0$ のときは $e^0 = 1 \neq 0$ となり共有点はないので、 $t > 0$ の範囲で考えることができ、共有点は $e^t = at$

つまり $a = \frac{e^t}{t} \quad (\because t \neq 0)$

を満たす。

(1)より、 $y = \frac{e^t}{t}$ のグラフの概形は

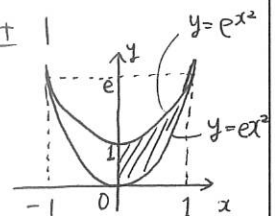


左図と $y=a$ の直線の共有点の個数を調べて。

$$\begin{cases} 0 < a < e \text{ のとき 共有点なし} \\ a = e \text{ のとき 共有点 2個 } (x^2=1, x=\pm 1) \\ a > e \text{ のとき 共有点 4個 } (x=\pm\sqrt{t_1}, \pm\sqrt{t_2}) \end{cases}$$

- (3) 共有点の個数が2のとき、(2)より交点の x 座標は ± 1

グラフの概形は



$y_1 = e \cdot x_1^2, y_2 = e \cdot x_2^2$ とおくと、

図の斜線部を y 軸のまわりに

1回転させてできる立体の体積は、

$$\begin{aligned} & \int_0^e \pi x_1^2 dy_1 - \int_1^e \pi x_2^2 dy_2 \\ &= \int_0^e \pi \frac{y_1}{e} dy_1 - \int_1^e \pi \log_e y_2 dy_2 \\ &= \frac{\pi}{e} \left[\frac{y_1^2}{2} \right]_0^e - \pi \left[y_2 \log_e y_2 - y_2 \right]_1^e \\ &= \frac{e\pi}{2} - \pi(e - e + 1) \\ &= \left(\frac{e}{2} - 1 \right) \pi \end{aligned}$$